

東京書籍

新しい家庭 5・6

教科書のご案内



表紙でガイダンスができます。

「地域みんなで楽しく生活しよう」をテーマに、さまざまな世代の人と、児童が交流する様子をイラストにしています。また、このイラストには、買い物や調理、製作、団らんなど、この教科書で学習する内容が盛り込まれています。「家庭科ではどんなことができるようになるんだろう」と、児童がわくわく期待をふくらませるような表紙にしました。ガイダンスにぜひご活用ください。

東書Eネットの特集ページでは、小学校教科書の紹介をしています。パンフレットとともに、ぜひ右記二次元コード、またはURLにアクセスし、ご覧ください。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/katei/>



[EduTown SDGs-わたしたちが創る未来-]は、小学生から中学生を対象としたWebサイトです。SDGsの各目標を通して、グローバルな視点で地球の未来を考え、自分たちにできることを考えさせるための教材を提供しています。



<https://sdgs.edutown.jp>



本社

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
Tel:03-5390-7308(家庭編集部)
Fax:03-5390-7326

支社・出張所

札幌 011-562-5721
仙台 022-297-2666
東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581
名古屋 052-939-2722
大阪 06-6397-1350
広島 082-568-2577
福岡 092-771-1536
鹿児島 099-213-1770
那覇 098-834-8084

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>
教育情報サイト東書Eネット
<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

2教 内容解説資料

この資料は、2年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則ってあります。

家庭科はあなたの生活を よりよく変えていく教科です。



家庭科の学習を通して、児童が生活していく楽しさを実感し、力強く未来を拓くための資質・能力を育成することを目指して、本教科書を編修しました。

特色1

● 3つの特色 ●
**生活をよりよく変えていく力が
身に付きます**

p.6

特色2

**問題解決的な学習が
3ステップで展開できます**

p.10

特色3

**実践的・体験的に楽しく学びながら、
生活の自立を目指します**

p.14

一緒に学習する
キャラクター



さくらさん



みなとさん



ゆなさん



ゆうさん

●著作関係者●

代表からのメッセージ



福島大学教授

浜島 京子



家庭科は、子供たちが家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことを重視しています。今後はいっそう、家族の一員としての在り方やよりよい生活について思考を深め、実践化につなげる必要があります。その際、本教科書の各大題材に「家庭科の窓」として示した、生活を見つめる視点(見方・考え方)が大切になります。また、子供たちが主体的に生活の課題解決を行う上で、新設された課題と実践に関する「生活を変えるチャンス！」の学習はとても重要です。以上を考慮し作成した本教科書は、深い学びや実践的態度の育成に役立つものとなっています。

佐賀大学大学院教授

岡 陽子



子供たちは家庭科が大好きです。家庭科室に入ると子供は小さな探検隊に早変わり。その気持ちをしっかりと受け止めて、第1大題材は「生活を見つめ、家庭科室を探検する」授業からスタートします。イラストや写真の活用は、生活への関心や知的好奇心を高める工夫の一つです。また、主体的・対話的で深い学びを実現するための3ステップによる問題解決的な学習、主体的な学びを生み出す「活動」の提案など、大題材ごとに確かな資質・能力を育む構成としています。本教科書の活用により、子供が自ら考え、力強く生活を切り拓く基盤の力が育成できると確信しています。

目次

3つの特色	p.2	[はさみ込み資料]
著作関係者・代表からのメッセージ	p.3	・年間指導計画案・学習指導要領
内容の構成	p.4	との関連
特色1	p.6	・検討の観点と内容の特色①②
特色2	p.10	
特色3	p.14	
現代的な教育課題への取り組み	p.22	
教師用指導書・周辺教材	p.30	

荒井奈津代 金沢市立森山町小学校教諭

有友 愛子 お茶の水女子大学附属中学校教諭

伊藤久美子 福島県立あぶくま支援学校教諭

大森 桂 山形大学教授

小野 郁子 園田学園女子大学准教授

勝田 映子 帝京大学教授

兼安 章子 福岡教育大学講師

神田 由紀 聖徳大学准教授

貴志 倫子 福岡教育大学教授

岸田 蘭子 京都市立高倉小学校校長

北本 珠理 白山市立北陽小学校教諭

工藤由貴子 元横浜国立大学教授

小清水貴子 静岡大学准教授

兒玉 重嘉 札幌市立本郷小学校教諭

財津 庸子 大分大学教授

佐藤裕紀子 茨城大学准教授

志村 結美 山梨大学教授

杉山久仁子 横浜国立大学教授

鈴木 明子 広島大学大学院教授

鈴木真優美 元川崎市立東高津小学校校長

妹尾 理子 香川大学教授

永田 智子 兵庫教育大学教授

中西 雪夫 佐賀大学教授

萬羽 郁子 東京学芸大学講師

福井 博美 京都市立高倉小学校教諭

福田 典子 信州大学准教授

南 佳子 元久御山町立御牧小学校校長

宮瀬美津子 熊本大学教授

三好 智恵 佐賀市立春日小学校教諭

横山 弘美 練馬区立大泉南小学校教諭

横山みどり 筑波大学附属小学校教諭

吉川 奏子 二本松市立石井小学校教諭

吉田亜希子 金沢市立田上小学校教諭

吉村佐知子 大阪市立鶯洲小学校教諭

渡邊 智子 千葉県立保健医療大学教授

〈色彩デザインに関する校閲〉

青木美穂子 足立区立鹿浜五色桜小学校教諭

西館 有沙 富山大学准教授

水野 智美 筑波大学准教授

吉成 千夏 豊島区立池袋本町小学校教諭

ほか1名

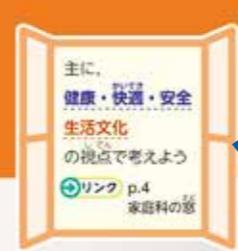
東京書籍株式会社

特色1

生活をよりよく変えていく力が身に付きます

5 食べて元気！ご飯とみそ汁

毎日の食事のとり方を見つめてみましょう。日本で昔から食べられてきたご飯とみそ汁の作り方や食事の役割・栄養について知り、どのように食品を組み合わせて食べるとよいか、よりよい食事のとり方について考えましょう。



家庭科の窓
p.7 ①参照

リード文

→ p.8 ②参照

学習の流れ

→ p.8 ②参照

ステップごとの
めあて
タイトル下に分かり
やすく示しています。

毎日の食事を見つめよう

毎日の食事をふり返り、どのような物を食べているのか考えよう。



見つめよう

めあて

かみあて

② 見通しが立てられる導入

「リード文」と「学習の流れ」を掲載することで、児童がこの大題材で「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」見通しが持てるよう工夫しました。特別支援対応としても有効です。

6 物を生かして住みやすく

私たちが、家庭や学校で気持ちよく生活するためには、身の回りをどのようにしておくとよいでしょうか。整理・整頓やそうじの仕方を学習し、身の回りの物や、面倒や資源を大切にして、気持ちよく生活できるように工夫してみましょう。

学習の流れ

- 身の回りや生活の場を見つめよう
- 身の回りをきれいにしよう
- 物を生かして快適に生活しよう

● 教科書 p.50 ●

9 見つめてみよう 生活時間

健康に生活したり、家族とともに過ごしたりする時間を大切にするために。毎日どのように時間を使うとよいのでしょうか。時間の使い方を見つめ直し、考えてみましょう。

学習の流れ

- 生活時間を見つめてみよう
- 生活時間を見直しあげよう
- 生活時間を見直す方法

めあて 1日の生活の仕方調べ、生活の課題を見つけよう。

あなたは毎日、すっきりと目覚め、元気に楽しく活動することができますか。毎日を健康で、楽しく過ごしていくためには、生活のリズムを整えたり、予定を立てて計画的に仕事をしたり、家庭でゆっくりと休憩やすいみんをとったりすることが大切です。時間を有効に使うと、明日からまた、元気に活動したり、集中して学習したりすることができます。

あなたは毎日どのように時間を使っているでしょう。食事の時刻や回数、就寝時刻、起きる時刻などを調べ、生活中でさまざまな活動に使っている自分の生活時間を見つめてみましょう。

● 教科書 p.74 ●

導入で見通しを立てると、本文への理解が深まります。**p.6** の項目を追っていくことで、確実に児童の資質・能力を育むことができます。

③ 学習のふり返りの充実

できることが増えていく達成感・充実感、次への意欲が得られる「ふり返り」を充実させました。

各学年末にまとめを新設。

学習はもちろん生活もふり返ることができます。

5年生のまとめ

あなたはよりよい生活を送るためにどのような工夫をしていますか？

お題 **深めよう**

ここまでの学習をふり返り、よく分かったり、できるようになったりした内容にしるしをつけましょう。（リンク p.3）

学習したことを使って、よりよい生活を送るために工夫できたことを書き出しましょう。

お題 **深めよう**

あなたは毎日、身の回りや生活の場を見つめ、よく分かって、できるようになったりした内容にしるしをつけましょう。（リンク p.3）

学習したことを使って、よりよい生活を送るために工夫できたことを書き出しましょう。

お題 **深めよう**

あなたは毎日、身の回りや生活の場を見つめ、よく分かって、できるようになったりした内容にしるしをつけましょう。（リンク p.3）

学習したことを使って、よりよい生活を送るために工夫できたことを書き出しましょう。

● 教科書 p.73 ●

2年間のまとめ

これからの生活に向けて、よりよい生活を送るためにどのような工夫をしていきたいですか？

お題 **深めよう**

2年間の学習をふり返り、よく分かったり、できるようになったりした内容にしるしをつけましょう。（リンク p.3）また、これからよりよい生活を送るために、工夫したいことを書き出しましょう。

お題 **深めよう**

あなたは毎日、身の回りや生活の場を見つめ、よく分かって、できるようになったりした内容にしるしをつけましょう。（リンク p.3）また、これからよりよい生活を送るために、工夫したいことを書き出しましょう。

お題 **深めよう**

あなたは毎日、身の回りや生活の場を見つめ、よく分かって、できるになったりした内容にしるしをつけましょう。（リンク p.3）また、これからよりよい生活を送るために、工夫したいことを書き出しましょう。

● 教科書 p.129 ●

中学校ではどのようなことをしたいか、考えられる設問を設けています。

成長の記録	
3年生の学習	6年生の学習
1. お手本	生活時間の 有効な使い方
2. お題	身の回りの 資源を活用する
3. お題	身の回りの 資源を活用する
4. お題	身の回りの 資源を活用する
5. お題	身の回りの 資源を活用する
6. お題	身の回りの 資源を活用する
7. お題	身の回りの 資源を活用する
8. お題	身の回りの 資源を活用する
9. お題	身の回りの 資源を活用する
10. お題	身の回りの 資源を活用する
11. お題	身の回りの 資源を活用する
12. お題	身の回りの 資源を活用する
13. お題	身の回りの 資源を活用する
14. お題	身の回りの 資源を活用する
15. お題	身の回りの 資源を活用する

● 教科書 p.3 ●

知識・技能が身に付いたかをチェックできる表を掲載。

どのような知識・技能が身に付いたか自分で評価することができます。

特色2

問題解決的な学習が 3ステップで展開できます

① すべての大題材を3ステップで展開

この教科書では、すべての大題材を3ステップで展開できるようにしています。
この3ステップは実生活にも役立つ問題解決的な学習です。

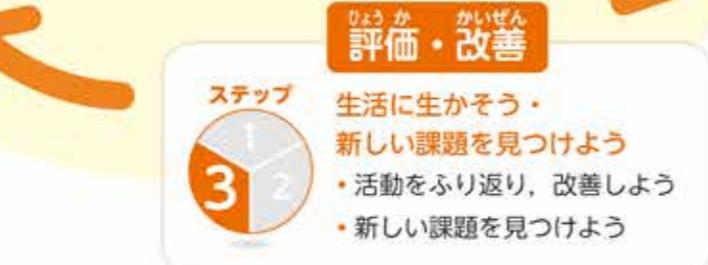
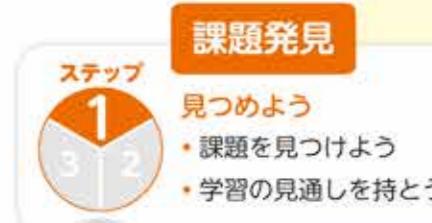
3ステップをすべての大題材(全15大題材)で行うこと
で問題解決的な思考が身に付く。

学習の進め方

これから、ステップ①→②→③の流れで学習を進めていきます。

どのステップでも周りの人と交流することで考えが深まります。

生活を見つめ、発見した課題を自分らしく解決していきましょう。



児童が明確な目的を持って学習に取り組み、達成感を感じることができる「めあて」と「ふり返ろう」。

▶ (例) 第3大題材ステップの展開

見つけよう

針と糸を使ってできること

めあて 針と糸を使ってできることを見つけよう。

ステップ1の
ふり返ろう 針と糸を使ってできることを見つけることができましたか。

針と糸を使うとどんなことができるかなと、児童が自ら生活をふり返り、課題を発見する。

計画しよう・実践しよう

手ぬいにトライ!

めあて 玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・ボタン付けが正しく安全にできるようになろう。

ステップ2の
ふり返ろう 安全に気をつけ、適切なぬい方で製作することができましたか。

実際に針と糸を使って、小物を作成。小物製作を通して、基礎・基本を習得する。

生活を変えるチャンス!

生活をよくしよう(生活の課題と実践)

- ・家庭や地域などで実践しよう
- ・よりよい生活を目指そう



学びを生活に生かす
「生活を変えるチャンス!」
→ p.13

手ぬいのよさを生活に生かそう

めあて 手ぬいのよさを生かしてやってみたいことを考え、計画しよう。

ステップ3の
ふり返ろう 手ぬいのよさを生活に生かすための計画立てることができましたか。また、周りの人と意見交換をして、評価・改善していきましょう。

学習内容をふり返ることで、確実に基盤・基本を定着。また、家庭・地域での実践を促し、よりよい生活を目指す。

②児童の主体的・対話的で深い学びにつながる活動

各大題材には学びを深めるために必要な活動が、明確な指示とともに掲載されています。

ステップ1・ステップ2には、主体的な学びや対話的な学びにつながる活動を掲載。

活動1 話し合おう

家庭にはどのような仕事があるか調べてみましょう。①食べることに関係すること、②衣服を整えることに関係すること、③家中を整えることに関係することに分けてみましょう。そして、自分や家族の取り組み方にについて気づいたことを話し合いましょう。

①食べることに関係すること
例) 料理
②衣服を整えることに関係すること
例) ふろそうじ
③家中を整えることに関係すること

活動には、「話し合おう」「やってみよう」「調べよう」などのサブタイトルがあり、主な活動がひとめで分かるようになっています。

話し合い活動など授業中に自分の考えや友達の考えを記入できます。

●教科書 p.7 ●

ステップ3には、ここまでの大題材での学びを総合し、取り組める「活動 深めよう」を掲載。

活動5 深めよう

物を選ぶとき、買い物をするとき、あなたや周りの人たちはどのように環境や資源に配慮して生活していますか。工夫していること、これから工夫したいことをカードにまとめましょう。完成したカードをさまざまな形で活用して、たくさんの人に持続可能な暮らし方を発信していきましょう。

暮らしキラリ
私は、商品に付いているマークや表示を毎回確認します！
5年1組 鈴木 ゆうま

暮らしキラリ
私は、ふくろを持って買い物に行くので、余計な包装は断ります！
5年1組 佐藤 ゆな

暮らしキラリ
私は、交換やつめかえができる物を選びます！
5年2組 渡辺 さくら

暮らしキラリ
私は、手入れの方法をお店の人確認し、大切に長く使います！
5年2組 伊藤 みなと

●教科書 p.38 ●

③学びを生活に生かす「生活を変えるチャンス！」

学習指導要領に新設の「家族・家庭生活についての課題と実践」に対応したページです。児童が家庭で実践する際の参考になるよう、実践の進め方を解説しています。

実践の進め方を丁寧に説明しています。

実践の例には、進め方に沿った具体的な方法を例示しています。

言語活動を充実させるため、まとめ方の例を掲載しました。

生活を変えるチャンス！①

学んできたことを生かして、生活をよりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人々と関わながら、計画立てて取り組みましょう。p.4の「家庭科の学びの4つの視点【協力・健康・快適・安全・生活文化・持続可能な社会】」から見ると、生活をよりよくするための考え方がうかんできます。

生活を変えるチャンス！②

学んできたことを生かして、生活をよりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人々と関わながら、計画立てて取り組みましょう。p.4の「家庭科の学びの4つの視点【協力・健康・快適・安全・生活文化・持続可能な社会】」から見ると、生活をよりよくするための考え方がうかんできます。

「生活を変えるチャンス！」(リソース) p.31 を参考して実践しましょう。

実践の進め方

1 課題の設定
2 計画
3 家庭・地域で実践
4 まとめ・発表
5 評価・改善

生活を変えるチャンス！③

学んできたことを生かして、生活をよりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人々と関わながら、計画立てて取り組みましょう。p.4の「家庭科の学びの4つの視点【協力・健康・快適・安全・生活文化・持続可能な社会】」から見ると、生活をよりよくするための考え方がうかんできます。

「生活を変えるチャンス！」(リソース) p.31 を参考して実践しましょう。

実践の進め方

1 課題の設定
2 計画
3 家庭で実践
4 まとめ・発表
5 評価・改善

生活を変えるチャンス！④

学んできたことを生かして、生活をよりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人々と関わながら、計画立てて取り組みましょう。p.4の「家庭科の学びの4つの視点【協力・健康・快適・安全・生活文化・持続可能な社会】」から見ると、生活をよりよくするための考え方がうかんできます。

「生活を変えるチャンス！」(リソース) p.31 を参考して実践しましょう。

実践の進め方

1 課題の設定
2 計画
3 家庭で実践
4 まとめ・発表
5 評価・改善

生活を変えるチャンス！⑤

学んできたことを生かして、生活をよりよく変えるチャンスです。自分の課題を見つけ、家族や地域の人々と関わながら、計画立てて取り組みましょう。p.4の「家庭科の学びの4つの視点【協力・健康・快適・安全・生活文化・持続可能な社会】」から見ると、生活をよりよくするための考え方がうかんできます。

「生活を変えるチャンス！」(リソース) p.31 を参考して実践しましょう。

実践の進め方

1 課題の設定
2 計画
3 家庭で実践
4 まとめ・発表
5 評価・改善

●教科書 p.31 ●

「生活を変えるチャンス！」は5か所(p.31, 61, 95, 115, 128)に設置し、学校や地域の実態に応じて取り組むことができる。

③

特色2

3ステップで展開できます

特色3

実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指します

インターネットを活用して、基礎技能動画
を見るすることができます。→ p.29

OPEN

実寸大写真

実寸大なので、イメージがつかみやすく、不安感を解消し、安全に授業を展開することができます。

実寸大写真一覧

包丁で材料を切る▶ p.131
包丁で皮をむく▶ p.132
包丁で芽を取りる▶ p.133
針と布を持ってぬう▶ p.135
布をたつ▶ p.137

右きき用と左きき用の
実寸大写真を掲載して
います。



132

野菜の洗い方



安全

- ・どろなどのよごれが付いていると、病気の原因になるので、しっかり洗って調理する。
- ・特に、生で食べる場合には、ていねいに洗う。

①

誰もが学びやすく基礎・基本が確実に習得できます。

巻末資料「いつも確かめよう」(p.130-141)には、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能をまとめています。困ったときにはいつでも開いて確認し、基礎・基本を確実に習得することができます。授業中の「困った」を解消します。

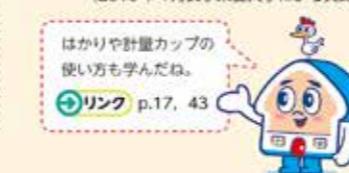
●教科書 p.132~133 ●

計量スプーンの使い方



スプーン、カップ1ぱいの重さ			
食品	小さじ	大さじ	カップ
水	5g	15g	200g
す	5g	15g	200g
しょうゆ	6g	18g	230g
みそ	6g	18g	230g
砂糖	3g	9g	130g
塩	6g	18g	240g
油・バター	4g	12g	180g

(2010年4月女子栄養大学による実測値)



包丁で芽を取りる



133

特色3

実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指します

巻末「いつも確かめよう」
収載内容

- いろいろな切り方▶ p.130
- 包丁で材料を切る▶ p.131
- 包丁で皮をむく▶ p.132
- 野菜の洗い方▶ p.132
- 計量スプーンの使い方▶ p.133
- 包丁で芽を取りる▶ p.133
- 玉結び・玉どめ・4つ穴ボタンの付け方▶ p.134
- 針と布を持ってぬう▶ p.135
- アイロンのかけ方▶ p.136
- しるしの付け方▶ p.136
- 布のとめ方▶ p.136
- 布をたつ▶ p.137
- ミシンのあつい方のポイント▶ p.138
- 月別気温と湿度▶ p.140
- 地域の料理▶ p.141

特色3

同じ内容の紙面を、実寸大の
現行教科書(AB判)と新教科書(A4判)とで比較!

大判化

+40mm ↑

3 いためる調理をしよう

フライパンを使って、いんじんやたまねぎなどの野菜はいためるとやわらかくなる。手順は、おひるね時間より短めに設定されています。

●重さへの取り組み

大判化による児童への負担を軽減するため、自社開発した軽量の専用用紙を使用しています。



現行教科書

新編 新しい家庭 5・6
AB判(210×257mm)



新教科書

新しい家庭 5・6
A4判(210×297mm)
*横幅は従来同様

いろどりいため

1 洗う・切る

にんじん

材料と分量(1人分)

- ・にんじん…20g (小 $\frac{1}{4}$ 本)
- ・ピーマン…30g (中1個)
- ・たまねぎ…20g (小 $\frac{1}{6}$ 個)
- ・ハム…20g (1枚)
- ・油またはバター…4g (小さじ1)
- ・塩…1g (小さじ $\frac{1}{6}$)
- ・こしょう…少し

必要な用具、食器

ボウル、ざる、包丁、まな板、切った材料を入れておく器、フライパン、さいばし、計量スプーン、器、はし

ピーマン

- ・軽くこすって洗い、水で流す。
- ・へたの付け根はよく洗う。



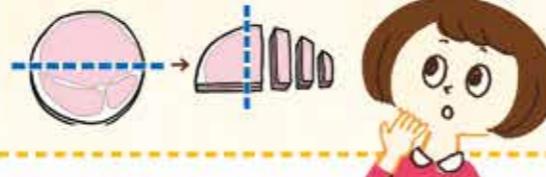
たまねぎ

- ・皮をむいて頭と根を切り落とし、洗う。たて半分に切って、3~5mmのうす切りにする。



ハム

- ・半分に切る。1cmはばのたんざく切りにする。



2 いためる

A4判だからこそ

より見やすく・より分かりやすくが実現できました。

+40mm

①丁寧な解説

本文には、知識・技能が丁寧に書かれています。➡ p.6さらに調理実習や製作実習の手順は、文章とともに写真・イラストを掲載し、より詳しく解説しています。

②資料性を充実

導入の写真やイラストを大きく掲載したり(➡ p.8)、実寸大写真を設けたり、安全の記述を丁寧に記載したりするなどして、資料性をさらに充実させました。

③特別支援教育に配慮

導入を構造化するなど、誰もが授業の流れが分かるよう工夫しています。➡ p.6 | p.8 | p.28

こまつなの中の油いため

材料と分量(1人分)

- ・こまつな…50g
- ・油…4g (小さじ1)
- ・塩…0.5g (小さじ $\frac{1}{12}$)
- ・こしょう…少し

- 1 こまつなを洗って切る。

- 2 熱したフライパンに油をひく。

- 3 こまつなを入れていためる。

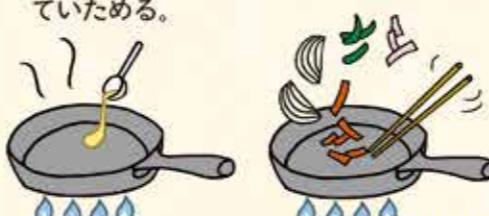
- 4 塩、こしょうを加える。

図5
火加減や加熱時間と食材の変化
(食材から出る水分)



2 いためる

- ・熱したフライパンに油を入れて全体にいきわたらせる。
- ・にんじんを少しやわらかくなるまでいため、たまねぎ、ピーマン、ハムを入れていためる。



! 安全

- ・油がはねてやけどをしないよう、材料の水気を取る。
- ・フライパンから火が出たら、すぐに器具せんを閉め、ふたをかぶせる。

かたさや塩加減はどうかな。味見をして確かめよう。

3 味付けをする

- ・塩、こしょうを加えてよく混ぜ、火を消す。



4 盛りつける・試食する

- ・いろどりよく、おいしそうに盛りつける。



5 かたづける

環境

- ・油よごれは不用な布や紙でふき取ってから洗う。

! 安全

- ・フライパンの油をふき取るときは、やけどに気を付ける。

これだけはできるようになろう

- どの材料にも均等に火が通るようないためることができる。
- 好みのかたさにいためることができる。

活動4 やってみよう

切り方や、順序、火加減に着目していためてみましょう。

3 いためる調理をしよう

野菜は、弱火でじっくりいためると水分が出てしまうので、強火で手早くいためましょう。そのためには、加熱をする前の準備が大切です。切った野菜、計量した調味料、油、さいばし、器などを事前に準備してから調理を始めましょう。

いろどりいため

1 洗う・切る

にんじん

- ①軽くこすって洗い、水で流す。
- ②へたを切り落とす。4cmの輪切りにする。1cmはばに切る。厚さ3mmの短冊切りにする。



基礎・基本が、写真・イラストとともに丁寧に書かれています。



根拠を考えながら、実習を進められるようなコメントを掲載しています。

ピーマン

- ①軽くこすって洗い、水で流す。
- ②たて半分に切って、へたと種を取り。3~5mmのせん切りにする。



材料と分量

(1人分)

- にんじん…20g (小 $\frac{1}{4}$ 本)
- ピーマン…30g (中1個)
- たまねぎ…20g (小 $\frac{1}{6}$ 個)
- ハム…20g (1枚半)
- 油またはバター…4g (小さじ1)
- 塩…1g (小さじ $\frac{1}{6}$)
- こしょう…少し

必要な用具、食器

ボウル、包丁、まな板、切った材料を入れておく器、フライパン、さいばし、計量スプーン、器、はし

油でいためる
(あげる)

安全マークを掲載し、注意を促しています。

資料2 フライパンの洗い方

フライパンは、やけどをしないようしっかりと冷ましてから洗う。特殊加工のフライパンの場合は、冷ました後に、油をふき取り、スポンジで洗って、ふきんでふく。スポンジは、フライパンの表面を傷つけないよう、やわらかいスポンジを使う。

鉄のフライパンの場合は、たわしで洗い、火にかけてかわかす。

特殊加工製

- ①油をふく。
- ②洗う。
- ③ふきんでふく。

安全

フライパンの持ち方の注意点

フライパンを使うときは、持ち手の中央を持つ。フライパン本体の近くを持つと、熱くやけどする場合があるので注意する。



2 いためる

- ①フライパンに油をひいて温め、全体にいきわたらせる。



- ②にんじんを少しやわらかくなるまでいため、たまねぎ、ピーマン、ハムを順番に入れていためる。



3 味付けをする

- ・塩、こしょうを加えてよく混ぜ、火を消す。



安全

- ・油がはねてやけどしないよう、材料の水気を取る。
- ・フライパンから火が出たら、すぐに器具せんを閉め、ふたをかぶせる。

好みのかたさにするにはどのくらいの火加減にすればいいかな。



4 盛りつける

- ①いろどりいため
②マナー
- 「できたかな？」で、実習ごとに基礎・基本をふり返ることができます。

5 かたづける

環境

- 油よごれは不用な布や紙でふき取ってから洗う。

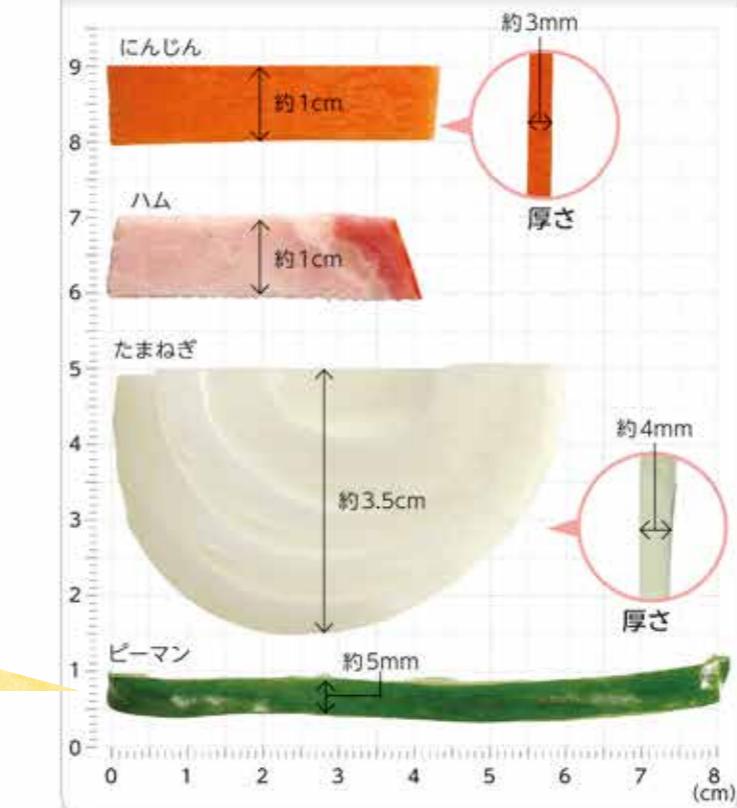


できたかな?

- どの材料にも均等に火が通るようにいためることができた。

- 強めの火力で短時間でこがさずに、好みのかたさにいためることができた。

資料3 大きさの目安(実寸写真)



意欲が高まる実習題材

製作実習題材

マイ・ミニバッグ	28
エプロン	68
ランチョンマット・ウォールポケット	70
トートバッグ	100
クッションカバー・きんちゃく	102

実習題材は、児童の発達段階に配慮して、基礎的・基本的な知識・技能を含んだ題材を選んでいます。児童の「作ってみたい！」「使ってみたい！」「できた！」「おいしい！」を引き出します。

その他にも、フェルトを使ったワッペンや、バンダナを使ったきんちゃくぶくろ、タオルを使ったぞうきんも掲載しています。



学習指導要領で題材指定された「ふくろ」について、製作に関わる3つの大題材で系統性を図り、題材を構成。

第3大題材 マイ・ミニバッグ

物を入れることを意識する。



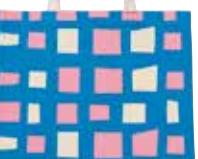
第8大題材 きんちゃくぶくろ

どのような物が入るか考える。



第12大題材 トートバッグ

目的の物を入れるふくろの大きさを考え、作る。



写真とイラストを使った、より分かりやすい製作手順を実現。

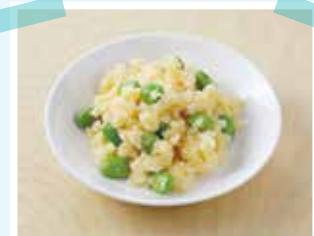
説明部分のぬい目が太くなっているので、手順を追いややすくなっています。

学習指導要領で指定された題材を中心に、知識・技能をより習得しやすい題材で構成。

調理実習題材

青菜のおひたし	
ゆでいも	18
ゆで野菜サラダ	20
ご飯	42
みそ汁	44
いろどりいため	82
青菜の油いため	
スクランブルエッグ	84
野菜のペーコン巻き	
豆腐と野菜のチャンプルー	
ベーコンポテト	112

この一覧以外にも、料理写真を豊富に掲載しています。



第2大題材 ゆでる調理をしよう

ゆでる材料として指定された青菜やじゃがいもの調理を詳しく学ぶ。



第10大題材 いためる調理をしよう

ゆでるときと同じように、かたさや色、香り、かさなどの調理前後の変化を見つける。



第5大題材 ご飯とみそ汁を作ろう

ゆでる調理で習得した技能を使って、好みに合ったみそ汁を作る。



第13大題材 ゆでる調理やいためる調理をしよう

今まで習ったゆでる調理といためる調理の両方の技能を使って、主菜・副菜を作る。



特色3

実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指します

安全教育

児童がくり返し確認できるように、安全の記述を巻末にまとめました。

食物アレルギーへの配慮も掲載！

●教科書 p.14 ● いつも確かめよう

調理の手

1 計画する・準備する

- 何を作るか決める。
- 材料とその分量を決め、準備する。
- 必要な用具や食器をそろえる。[リンク](#) p.8
- 身支度をする。(→図1)
- 手を洗う。[リンク](#) p.143
- 食物アレルギーの確認をする。

●教科書 p.15 ● 本文

私たちは毎日の食事で、さまざまな食品をいろいろな方法で調理し、食べています。調理することで、どのようなよいことがあるのでしょうか。

ここでは初めての調理に挑戦します。調理をするとときは、準備から後からだけまでの意識を持って作業を進めることで、手早く調理することができます。また、安全で衛生的に調理することが大切です。危険アレルギーがある場合には、食べられる食品かどうか確認しましょう。

では、安全をおいしく安全に食べるための調理の手順について学びましょう。

●教科書 p.110 ● 材料の準備

加工食品 (豆腐、ちくわ、ベーコンなど)
品質表示や食物アレルギーの表示を見て、原材料、内容量などを確かめる。

安全に実習しよう

安全に実習を行うためには、どのようなときでも、家庭科室や机の上は整理・整頓しておくことが大切です。ゆかに余計な物を置いたり、調理台の引き出しやとびらを開けたままにしたりしないようにしましょう。また、常にどのようなことが起こるか予想し、対処できるようにしておきましょう。

1 調理実習

始める前に

- 食器用のふきんと台ふきんは分けて使うため、2つとも準備する。
- 青葉などの調子が悪いときは調理実習は見学する。
- アレルギーのある人と調理を行うときは、使用する食品に十分に注意する。
- 調理実習を始めるときは手をていねいに洗う。

手の洗い方



野菜を洗うとき

- 土などのよごれをしっかり洗ってから調理する。特に生で食べる場合には、ていねいに洗う。

包丁をあつかうとき

- 食品をおさえた手の指先を切らないように軽く丸める。[リンク](#) p.17
- 包丁は置く場所を決め、使わないときはもとの位置にもどすようにする。
- 包丁を持ったまま歩かない。運ぶときはパットに入れるなど安全に気をつける。
- 包丁を人に向けない。友達にわたすときには直接わたさず一度台の上に置いてわたす。また、えの部分(刃のみの方)を相手の方に向けて置く。
- 包丁を置くときは安定した場所に置く。



143

本編では、マークを付け、安全についての注意喚起をしています。

●教科書 p.143-144 ●

防災教育

マークとともに、日頃から防災について考えられるコラムを掲載しています。

日々の備え

日々の整理・整頓は防災にもつながります。災害で避難するときに、部屋が散らかっていると迷道をふさいでしまったり、けがをしてしまったりすることがあります。また、避難するときに必要な懐中電灯や防災グッズ、非常用持ち出しへぐるの場所も日頃から確認しておきましょう。

ここをチェック!

- 地震が起きたときに落ちてきそうな物はないか。
- 玄関や階段、ベランダに物を置いていないか。
- 非常用持ち出しへぐるはすぐ出せる場所に置いてあるか。

●教科書 p.52 ●

日々の備え 針と糸

針と糸は、防災用品といっしょにいつでも持ち出せるようにしましょう。衣服のほころびを直したり、とれたボタンを付けたり、着る人に合わせて服を直したり、きっと役に立ちます。



●教科書 p.30 ●

44

地震が起きたときどうしたらよいか、児童自身にも分かっていてほしい、という現場の先生の声から新設しました。

日々の備え なべでたくご飯

今は電気炊飯器でたくことが多いご飯も、昔はかまどにかま(羽がま)をかけ、まで火をおこしてしていました(右図)。炊飯器が使えないときには、なべでご飯をいたたきが役に立ちます。計量カップやはかりが手近になくても、別の容器で米の体積を確認し、およそ1.2倍の水を加えればよいのです。



食育

家庭科では、食育の視点を生かした指導が期待されています。この教科書は、学習指導要領はもちろん、食に関する指導の手引－第1次改訂版－(平成22年3月)に示された「食に関する指導の目標」にも対応しています。

1 食事の重要性

全大題材を通して、食事の重要性を考えさせます。また、ともに食べる楽しさも実感できます。

2 心身の健康

栄養のバランスがよい食事の重要性はもちろん、規則正しい生活時間についても学び、自らの心身の健康を意識します。

3 食品を選択する能力

食品を選ぶときのポイントや、買いつなどを学び、自らの判断力を養います。

● 教科書 p.78 ●

● 教科書 p.110 ●

5 社会性

食事の準備や後かたづけなどを協力して行ったり、マナーを考えたりすることが、相手を思いやり、楽しい食事につながることを実感できます。

● 教科書 p.23 ●

第10大題材では、朝食の大切さや栄養のバランスがよい食事の重要性を学びます。

6 食文化

マークとともに、日本の文化を紹介し、日本の食文化の理解を深めます。

● 教科書 p.44 ●

● 教科書 p.49 ●

児童が生活文化の大切さに気付くことができる資料が豊富にそろっているよ。



「日本の伝統」マークとともに、大切な日本の文化を紹介しています。

食育に関する指導の目標は、家庭科の食生活に関わる学習(p.15, 40, 78, 106)すべてと密接に関連。

日本の伝統

食生活に関わることだけでなく、家族・家庭、衣、住、消費・環境生活すべての大題材で、日本の伝統的な生活に関わる資料を取り上げています。

● 教科書 p.94 ●

4 感謝の心

食事前後のあいさつの大切さなどを学び、食事に関わるすべての人々へ感謝する心を育みます。

「いただきます」と「ごちそうさまでした」

日本では、食事の前には「いただきます」、食事の後には「ごちそうさまでした」とあいさつをします。これらは食材となった野菜や魚などの生物の命や、料理を用意してくれた人などへの感謝の気持ちを表すものです。

平成25年には、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。各地域や季節の食材、だしのうま味を生かした調理、季節に合わせた器などを用いた盛りつけ、行事食など日本人の伝統的な食文化がその対象です。

感謝の気持ちをこめて、日本人の伝統的な食文化にも関わる食事のあいさつをしましょう。

● 教科書 p.23 ●

どんな音があるだろう

日本では、昔から生活の中の音を大切にしてきました。夏は風鈴や鉛虫の鳴き声、水の音など、すずしく感じる音を生活に取り入れています。ほかの季節の音も探してみましょう。



● 教科書 p.89 ●

日本でぬぐい

日本でぬぐいは、綿の平織りの布です。ぬぐいは昔から顔や手をふいたり入浴時に体を洗ったりするために使われてきました。タオル地のぬぐいが使われるようになってからも、暑さや寒さ、ちりやはこりを防ぐ目的や、祭りなどで顔にかかるなど今もいろいろな場面で使われます。たくさんのががあり、生活を楽しくしてくれます。



● 教科書 p.63 ●

もったいない

日本で昔からあった「もったいない」という言葉には、限りあるものを大切にし、長く使うという考え方があります。この「もったいない」(MOTTAINAI)という言葉は、2004年にノーベル平和賞を受賞したケニアのウンガリ・マータイさん(1940年-2011年)によって世界に広くしょうかいされました。環境活動の3Rを一言で表し、さらに、地球資源に対するRespect(尊敬)や物に対する感謝がこめられた言葉です。



● 教科書 p.57 ●

特別支援教育への配慮

教科書全体を通して、特別支援教育への配慮をしています。

すべての大題材が同じ構造のため、児童が安心して授業に取り組むことができる。

導入の構造 → p.6

すべての大題材が、タイトル→家庭科の窓→リード文→学習の流れ→ステップ1という流れで構成されています。

3ステップ構造 → p.10

すべての大題材が、ステップ1→2→3の流れで進むので、誰もが問題解決的に学習に取り組めます。

実寸大写真で道具に触れる不安感を解消。

実寸大写真に手をのせて、まねをすることで、実習のイメージを持つことができます。



● 教科書 p.130-131 ●

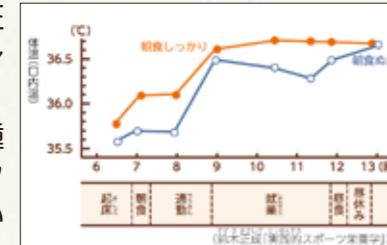
ユニバーサルデザイン

誰もが使いやすい教科書を目指して、ユニバーサルデザインに取り組みました。

カラーバリアフリーを実現。

外部の専門家に検証を依頼し、デザインしました。

色や形など、線の種類を変えて、グラフを読みやすくしています。



● 教科書 p.79 ●

ユニバーサルデザイン教科書体を採用。

字形を判別しやすく、読み間違えにくいという特徴(ユニバーサルデザインフォント)はもちろん、教科書体の特徴をあわせ持ったフォントを、本文に使用しました。

あ

あ

他のフォント

新しいフォント

デジタルコンテンツ

Dマークがあるところでは、インターネットに接続し、URLや二次元コードにアクセスすると、基礎技能などの動画を見ることができます。

● 教科書 p.136-137 ●

基礎技能動画を中心とした
14 コンテンツ

Dマークコンテンツ一覧

教科書ページ数	内容	教科書ページ数	内容
17, 131	包丁の使い方 (右きき)	27	玉どめの仕方
17, 131	包丁の使い方 (左きき)	52	修理の仕方
18, 132	皮のむき方 (右きき)	68, 137	布のたち方 (右きき)
18, 132	皮のむき方 (左きき)	68, 137	布のたち方 (左きき)
26	玉結びの仕方	86	夏の住まいの工夫
26, 135	なみぬいの仕方 (右きき)	116	冬の住まいの工夫
26, 135	なみぬいの仕方 (左きき)	143	手の洗い方



このマークが
目印です。

インターネットに接続するときは、右記の二次元コード
やアドレスのどちらからでもアクセスできます。



<https://tsho.jp/02p/ka/>

学習者用デジタル教科書



デジタル教科書を紹介する Web ページに、こちらからアクセスできます。

https://www.tokyo-shoseki.co.jp/ict/dkyokasho_el/

法改正により、紙の教科書との併用で、文部科学省が認める学習者用デジタル教科書（紙の教科書と内容が同一であるもの）を使用することが可能になりました。東京書籍は、2年度用小学校教科書の発行全書目で学習者用デジタル教科書を発行します。

複数の教科を一括管理

東京書籍をはじめ、複数の発行者が採用するビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科・教材を一つのビューアで管理できます。

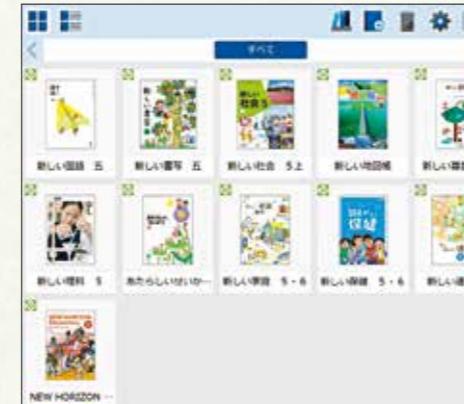
学習を支える便利な機能

ペンツールでメモを残したり、web 上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。自分の学習記録を残すことで、児童一人一人の教科書が作れます。

特別支援教育への対応

文字色や大きさ、行間などを調整し、児童が最も読みやすいようにカスタマイズできます。また、総ルビ・分かち書きや写真・イラストなどの図版の拡大も表示できます。

※学習者用デジタル教科書では、紙面のロマークをクリックするだけで、デジタルコンテンツを表示できます。 ➔ p.29



本文をクリックすると、本文拡大画面に切り替わります。

家庭科ノート

14 冬を明るく暖かく

冬の生活を見つめよう

新しい家庭5・6に完全準拠！活動を中心構成しています。

書き込みやすいように、方眼を採用！

大題材ごとのめあてはもちろん、ステップごとに、めあてとふり返りを掲載！

構成

全2巻 (5年・6年)

- A4判/4色
- 教師用書あり(朱書き)
- 期末テスト付

新しい家庭5・6に完全準拠！活動を中心構成しています。

書き込みやすいように、方眼を採用！

教師用指導書

授業準備をサポートします！

構成

全2巻 (5年・6年)

- **指導編** (A4判/4色)
教科書と同じ A4 判。教科書縮小紙面に丁寧な解説を加えています。

- **研究編** (B5判/1色)
大題材ごとに、詳しい展開例と資料で構成しています。そのほかにも、初めて家庭科を行う先生でも役立つ情報を多数掲載しています。

- **評価問題・ワークシート編** (A4判/1色)
話し合い活動などがしやすいワークシートと 2 種類の評価問題で構成しています。

- **掲示資料** (A1判/4色)
基礎技能を中心とした掲示資料です。壁面や黒板などに貼付ができます。

- **指導者用デジタルブック**
教科書紙面、年間指導計画、評価規準、評価問題・ワークシートのデータや動画集などで構成しています。さらに、総ルビ・分かち書き教科書紙面も収録し、外国人児童や帰国児童など日本語の読みが苦手な児童への対応としても有用です。



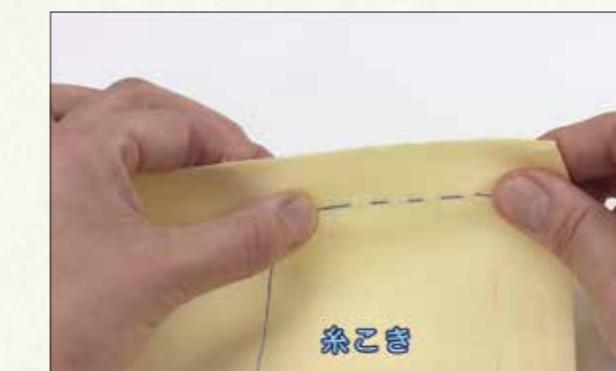
指導編
授業のポイントをおさえた1冊！



「活動」に使えるワークシート
すべての「活動」に対して、ワークシートを用意しました。DVD-ROM にデータがあるので、授業に合わせてカスタマイズできます。



詳しい「展開例」
詳しい展開例を掲載しているので、初めて家庭科を教える先生にとっても進めやすい構成です。



動画集
基礎技能動画を多数収録しています。

*これらの商品は企画中のため、内容・仕様ともに、変更になる場合がございます。